

登録日	2026/3/24
腫瘍名	非小細胞肺癌

登録番号	Nscl057
申請医師	呼吸器内科

投与スケジュール

				28日毎 × 1コース					
				1コース					
				1	8	15	22	29	(day)
①	デキサート	9.9 mg	点滴 30分	↓					
	ポララミン	5 mg							
	生理食塩水	50 mL							
②	ポララミン	5 mg	点滴 30分		↓	↓	↓		
	生理食塩水	50 mL							
③	生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓	↓	↓	↓		
	(前投薬用フラッシュ)		(全開)						
④	リブロファズ	1600 mg	皮下注 5分	↓	↓	↓	↓		
⑤	ラズクルーズ	240 mg/day	内服 1日1回	Day1~28					
2コース目から 28日毎 × PDまで継続				2コース					
				1	15	29			
①	リブロファズ	1600 mg	皮下注 5分	↓	↓				
②	ラズクルーズ	240 mg/day	内服 1日1回	Day1~28					
				3コース					

注意事項

- ・適応: EGFR遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌
- ・インフュージョンリアクション予防対策
 - ①カロナール
リブロファズ投与の30分前に、毎回、カロナール1000mgを投与する。
 - ②デカドロン1回8mg 計5回投与を考慮する(1コース目のみ)
(Day1の投与2日前から朝夕食後で投与、Day1リブロファズ投与の30分前に投与)
 - ③2コース目以降、抗アレルギー薬の予防対策は、以下の静注または内服から主治医判断で選択する。
静注の場合: ポララミン注5mg+生食50mL 点滴30分、生食50mL フラッシュ用 点滴5分
内服の場合: ポララミン錠8mg を内服 リブロファズ投与の30分前に投与する。
- ・リブロファズ投与について
腹部皮下に約5分かけて投与する。21~23ゲージの注射針が推奨。
各投与15mLを超える場合は複数のシリンジに分けて投与する。
複数のシリンジで投与する場合、へその周り5cmを外した異なる腹部四分円に投与する。
- ・皮膚障害対策セットあり
- ・減量、休薬基準、有害事象対策は、リブロファズの適正使用ガイドに準じる
- ・ラゼルチニブを投与開始後、4か月間はアピキサバン1回2.5mgを1日2回投与する。
腎不全(CLcr15mL/min未満)にはアピキサバンは投与できないため、本レジメン以外の治療を考慮する。
- ・ラゼルチニブの投与開始前に心エコー、BNP、トロポニンを測定する。

参考文献

- 1) J Clin Oncol, 42, 3593-3605 (2024).
- 2) 各薬剤添付文書(リブロファズ2026年3月改訂版、ラズクルーズ2026年3月改訂版)

リブロファズ投与方法

投与方法

1 適切な体位の確認

- 患者さんに無理のない体位を取ってもらってください。

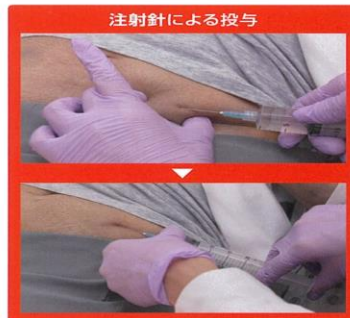
2 投与部位の確認と消毒

- 投与部位はへその周り5cmを外した腹部です。
- 複数のシリンジで投与する場合は、腹部を四つに分けた円の異なる部位に連続して投与してください。
- 皮膚の発赤、挫傷、圧痛、硬結又は癒痕がある部位には注射しないでください。
- 前回投与した部位を避けて投与するようにしてください。
- アルコール綿等を用いて投与予定部位周辺5cmを消毒します。



3 薬液の投与

- 1 投与予定部位の皮膚をしっかりと保持し、注射針を挿入します。
- 2 プランジャーをわずかに引き戻し、血液の逆流の有無をチェックし、血管に穿刺されていないことを確認してください。
- 3 本剤を約5分かけて注入します。



投与中	<ul style="list-style-type: none">●可能な限り一定の速度で注入してください。●注射液の漏出がないか、常時注射部位を観察してください。●患者さんの反応を観察しながら投与してください。
投与中に患者さんが痛みを感じた場合	注射速度を減速又は注射を中断してください。減速又は中断をしても痛みが軽減しない場合は、残りを左右逆側の腹部に投与することができます。その場合は、注射液内の不純物や投与量を再度確認したうえで、投与を継続してください。
投与終了後	<ul style="list-style-type: none">●注射部位を圧迫したり、もんだりこすったりしないよう、患者さんにご指導ください。●使用した注射針とシリンジを適切に廃棄してください。

14. 適用上の注意(抜粋)

14.2 薬剤投与時の注意

- 14.2.4 腹部皮下に、本剤を約5分かけて投与する。複数のシリンジで投与する場合は、へその周り5cmを外した異なる腹部四分円に連続して投与すること。他の部位への投与はデータが得られていない。